

設問1 次の文章を読んで、以下の間に答えなさい。【得点 45点】 解答番号  ~

元は塩法・商税・交鈔の運用を中心とする a 経済政策を展開したが、やがてユーラシア規模の天災と反乱に苦しんだ。中国でも交鈔の乱発で経済が混乱すると、やがて各地で農民反乱が多発した。紅巾の乱で頭角を現した (A) は、元の勢力を北方に追いやり、1368年に、(B) を都に明を建国した。

(A) は農村末端にまで至る支配を徹底する一方で、海禁策を採り民間貿易を制限した。靖難の変の後、皇帝となった (C) は、北京に遷都しモンゴルに遠征した。また 南海大遠征 では (D) を派遣し、諸国に朝貢を求めた。60余りの国々が朝貢に応じ、朝貢 貿易体制のもと大いに貿易が栄えたが、この帝の後、事業は下火となりやがて北虜南倭と呼ばれる外患に苦慮するようになった。そのため c 1567年に海禁策を緩和し、また北の d モンゴルとも和睦した。

民間貿易が再び活性化する中で、東アジア貿易に参画したポルトガルや (E) の勢力が新大陸や日本との中国をつなぐ役割を果たし、中国物産と大量の銀が交換された。銀の流入は江南地域の経済を活性化させ、綿織物・絹織物・陶磁器などの製品や綿花の栽培、養蚕業や茶の栽培も盛んに行われた。長江下流域は商工業の中心地となった。またこれにともない 穀倉地域の中心は長江中・上流域に移動した。また各地の特産品は山西商人・新安商人などににより国内に流通した。また e 新大陸から伝来した作物の栽培普及も相まって、人口の急激な増大を後押しした。

問1 空欄 (A) に当てはまる人物として正しいものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 趙匡胤      2 朱全忠      3 李元昊      4 劉邦      5 朱元璋

問2 空欄 (B) に当てはまる都市として正しいものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 開封      2 臨安      3 長安      4 南京      5 北平

問3 空欄 (C) に当てはまる人物として正しいものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

- 1 康熙帝      2 永樂帝      3 光武帝      4 太宗      5 嘉慶帝

問4 空欄(D)に当てはまる人物として正しいものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

4

- 1 王安石      2 商鞅      3 郭守敬      4 鄭和      5 孔穎達

問5 空欄(E)に当てはまる国として正しいものを、次の1～5のうちから一つ選びなさい。

5

- 1 オランダ      2 フランス      3 イギリス      4 スペイン      5 アメリカ

問6 下線部 a に関連して述べた文として誤っているものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

6

- 1 元は科挙を停止し、財政面では色目人を登用した。
- 2 前漢の武帝は均輸法・平準法などの物価調整策を行った。
- 3 宋の王安石は青苗法・市易法などの新法を実施した。
- 4 北魏の太武帝は均田制を実施したが、給田対象は丁男のみであった。

問7 下線部 b に関連して述べた文として誤っているものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

7

- 1 17世紀末にヨーロッパ船の来航を広州1港に限定し、貿易は公行が独占した。
- 2 19世紀半ばごろ、上海・寧波・厦門・福州・広州を自由港として開港した。
- 3 ムスリム商人が来航し南海貿易が活発化したため、8世紀初めに市舶司を設置した。
- 4 11世紀ごろにはジャンク船による中国商人の活動も活発になり市舶司の設置も拡大した。

問8 下線部 c に関連して、同世紀の内容を述べた文として誤っているものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

8

- 1 オスマン帝国のスレイマン1世はプレヴェザの海戦で勝利した。
- 2 ヘンリ8世が首長法を制定し、イングランド教会はカトリックから離脱した。
- 3 イスマイル1世が建国したサファヴィー朝は十二イマーム派を国教とした。
- 4 神聖ローマ皇帝ジギズムントはコンスタンツ公会議で大シスマを収拾した。



問 12 波線部イに関連して、地図 X のイ地点の都市名と説明の組み合わせとして正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。 1 2

- 1 広州 : 唐代には安南都護府が置かれた国際港である。
- 2 泉州 : 遣唐使船が入港し、日宋貿易、日明勘合貿易の主要港でもあった。
- 3 広州 : 唐代にムスリム商人が来航し、蕃坊と呼ばれる居住区が作られた。
- 4 泉州 : マルコポーロが『世界の記述』で世界一の貿易港と讃えた。

問 13 波線部ウに関連して、銀の流入は中国経済におおきな影響をもたらした。中国史における税制面を述べた文として誤っているものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。 1 3

- 1 明に一条鞭法が制定され人頭税と地租を一括して銀納とした。
- 2 明末に地丁銀制が採用され、人頭税を地租に繰り込み銀納とした。
- 3 唐代に両税法が制定され、財産に応じて、年に二度、納税することとなった。
- 4 唐初には、租で粟二石、庸で中央政府の労役、調で絹布・麻布・綿などを税として収めた。

問 14 波線部エに関連して、穀倉地帯としての流域地域を表した表現として正しいものを、次の 1～3 のうちから一つ選びなさい。

1 4

- 1 江浙熟すれば天下足る    2 蘇湖熟すれば天下足る    3 湖広熟すれば天下足る

問 15 波線部オに関連して、世界各地の商人についての説明として誤っているものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。 1 5

- 1 15 世紀ごろヴェネツィア商人はマムルーク朝と結んで東方貿易で活躍した。
- 2 13 世紀ごろブリュージュは北海・バルト海においてハンザ同盟の盟主として発展した。
- 3 14 世紀ごとデンマーク女王マルグレーテはカルマル同盟を結び北ドイツ諸都市に対抗した。
- 4 13 世紀ミラノを中心とするロンバルディア同盟はシュタウフェン朝に対抗した。

設問2 次の文章を読んで、以下の間に答えなさい。 【得点 39点】

解答番号  ～

古代ギリシアでは植民活動を通じて富裕化した平民が、a 重装歩兵として国防の主力を担うようになった。アテネでは<sup>ア</sup>植民活動が活発になる一方で、格差の問題が生じた。また平民による、貴族が独占していた権利を求める運動もおこった。前6世紀初め(A)は血縁に基づく支配を改め、財産の大小に応じて権利と義務を定める財産政治を行った。またアテネ市民の債務奴隷化を禁止し、債務の帳消しなどを通じて平民と貴族との調停を試みた。その後登場した(B)は独裁者となったが、中小農民を育成し、民主政の基礎を作った。しかし貴族の反発を受け、子のヒッピアスは追放された。(B)家の僭主政治を打倒した(C)は血縁的・地縁的対立を緩和するため、新たに10部族制を設けて、民会を補佐する機関として人口比例で選出される五百人評議会を作った。また陶片追放で僭主の出現を防いだ。ペルシア戦争後、無産市民の発言権が向上し、(D)時代に<sup>b</sup>アテネの民主政は完成した。しかしペロポネソス戦争中に(D)が病没し、やがて衆愚政治に陥った。長い内戦を経験したのち、ギリシア世界はやがてマケドニア王国の支配下に入った。

古代ローマでも貴族と平民との間で身分の平等化の動きが起こった。ローマは前509年(E)人の王政が打倒され、共和政がおこったが、当初は貴族が権力を独占した。しかし、自作農を中心とする重装歩兵が活躍し、イタリア半島内の征服戦争と並行して、身分闘争が進展した。聖山事件を契機に護民官・平民会が設置された。前367年の(F)法では、コンスルの内一名を平民出身とした。前278年の(G)法により、平民会の決定が国法となり、身分闘争は集結した。しかし<sup>c</sup>ポエニ戦争をはじめとする<sup>イ</sup>属州拡大戦争を通じて、ローマは発展したが、市民間で格差は拡大した。旧来の貴族は、コンスル職や護民官といった官職を経験した上層平民の家柄と合流し、ノビレスと呼ばれる新貴族層となった。<sup>d</sup>前2世紀、(H)の改革が失敗したのち、没落した平民は都市に流入した。こうした平民たちは有力者が提供する「パンとサーカス」を享受し、また、これを提供する有力者を支持した。また有力者の庇護下で私兵となるものも現れた。有力者は閥族派と平民派に分かれて争い、二度の<sup>e</sup>三頭政治を経て帝政へ移行した。

問16 空欄(A)～(D)に当てはまる人物の組み合わせとして正しいものを、次の1～4のうちから一つ選びなさい。

- |   |           |            |            |            |
|---|-----------|------------|------------|------------|
| 1 | A クレイステネス | B ソロン      | C ペリクレス    | D ペイシストラトス |
| 2 | A ソロン     | B クレイステネス  | C ペイシストラトス | D ペリクレス    |
| 3 | A ソロン     | B ペイシストラトス | C クレイステネス  | D ペリクレス    |
| 4 | A クレイステネス | B ペリクレス    | C ソロン      | D ペイシストラトス |

問 17 空欄 (E) に当てはまる語句として正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

17

- 1 アカイア      2 エトルリア      3 ドーリア      4 イオニア

問 18 空欄 (F) に当てはまる語句として正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

18

- 1 カヌレイウス      2 リキニウス・セクスティウス  
3 ホルテンシウス      4 グラックス兄弟

問 19 空欄 (G) に当てはまる語句として正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

19

- 1 ホルテンシウス      2 リキニウス・セクスティウス  
3 グラックス兄弟      4 アッピウス

問 20 空欄 (H) に当てはまる語句として正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

20

- 1 グラックス兄弟      2 カトー  
3 リキニウス・セクスティウス      4 ホルテンシウス

問 21 下線部 a に関連して述べた文として誤っているものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

21

- 1 8 世紀ごろから、西欧ではアヴァール人やイスラームに対抗する騎士の育成が重要視された。  
2 4 世紀にはゲルマン人傭兵隊長オドアケルによって西ローマ帝国が滅ぼされた。  
3 フィリポス 2 世はテーベから学んだファランクスを改良し、カイロネイアの戦いで勝利した。  
4 百年戦争の頃には、騎士が不足し傭兵が採用され、15 世紀末ごろには火器が大量に使用された。

問 22 下線部 b に関連して述べた文として誤っているものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

22

- 1 将軍職は民会での選挙を通じて選出された。
- 2 アテネ民主政は市民全員が参加する直接民主政が特徴である。
- 3 ペリオリコイ、女性、奴隷には参政権が与えられなかった。
- 4 公職者や民会参加者には日当が支払われた。

問 23 下線部 c に関連して述べた文として誤っているものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

23

- 1 カルタゴはフェニキア人により、現在のチュニジアに建設された。
- 2 カルタゴの将軍ハンニバルはカンネーの戦いでスキピオに破れた。
- 3 最初の属州となったシチリアは、「ローマの穀倉」と呼ばれた。
- 4 カルタゴと同盟したアンティゴノス朝は滅亡し、ローマの属州となった。

問 24 下線部 d と同世紀の内容を述べた文として正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

24

- 1 前漢の武帝が中部ベトナムまで進出し、日南郡を設置した。
- 2 ササン朝時代のペルシアにおいてマニ教が成立した。
- 3 マウリヤ朝のアショーカ王はダルマ（法）による統治をめざした。
- 4 扶南は東西交易で栄え、呉やクシャーナ朝の使者も訪れた。

問 25 下線部 e に関連して、人物の組み合わせとして正しいものを、次の 1～5 のうちから一つ選びなさい。

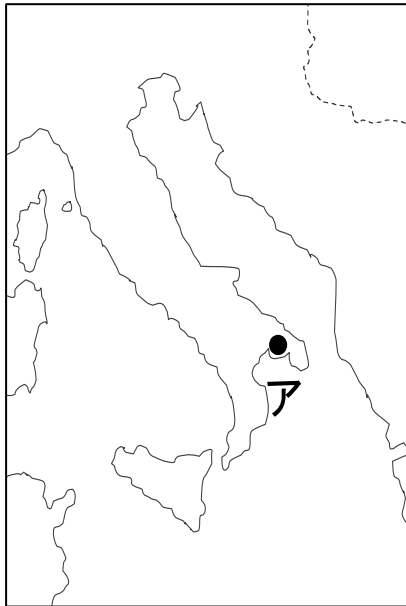
25

- 1 アントニウス — カエサル — クラッスス
- 2 レピドゥス — ポンペイウス — カエサル
- 3 オクタウィアヌス — アントニウス — クラッスス
- 4 カエサル — クラッスス — レピドゥス
- 5 ポンペイウス — カエサル — クラッスス

問 26 波線部アに関連して、地図 Y のア地点の都市名と関連する内容の組み合わせとして正しいものを、次の 1～4 のうちから一つ選びなさい。

26

地図 Y



- 1 タレントウム：マグナ・グラエキアを中心であったが、ローマによって陥落した。
- 2 シラクサ：フェニキア人の植民市であったが、ローマの属州シチリアの州都となった。
- 3 タレントウム：フェニキア人の植民市であったが、三度にわたるポエニ戦争で滅亡した。
- 4 シラクサ：ギリシア人のアルキメデスはテコの原理を発見した。

問 27 本文中の      について、以下はこのような格差が生じた理由を説明する文である。文章中の空欄部分に、労働力と栽培する作物に言及する文章を、次の 1～4 のうちから一つ選び完成させなさい。

27

ポエニ戦争後、ノビレスは属州総督として属州から収奪し、エクイテスも徴税請負や土木工事の国家事業をローマから請け負い、巨万の富を得た。またその富をイタリアに投資し

( ) するラティフンディアを経営した。一方で長期にわたる戦争と穀物の流入、ラティフンディアの拡大により、重装歩兵の供給源であったローマの自作農は没落した。

- 1 コロヌスを使役し、穀物やオリーブ、ぶどうを栽培
- 2 奴隷を使役し、主に穀物を栽培
- 3 コロヌスを使役し、主に穀物を栽培
- 4 奴隷を使役し、穀物やオリーブ、ぶどうを栽培



問 28 下の史料は 18 世紀の歴史家ギボンの著書『ローマ帝国衰亡史』の抜粋である。

・・・仮にもし世界史にあって、もっとも人類が幸福であり、また繁栄した時期とはいつか、という選定を求められるならば、おそらくなんの躊躇もなく、ドミティアヌス帝の死からコンモドゥス帝の即位までに至るこの一時期を挙げるのではなかろうか。広大なローマ帝国の全領土が、徳と知恵とによって導かれた絶対権力の下で統治されていた。軍隊はすべて四代にわたる皇帝の、強固ではあるが平和的な手によって統制され、これら皇帝たちの人物および権威に対して、国民もまたおのずからなる敬仰の念を献げていた。その文民統治はネルヴァ、トラヤヌス、ハドリアヌス、そして両アントニヌスとつづく歴代皇帝によって慎重に守られた。彼らとしても自由の世相に喜びを感じ、みずから責任ある法の施行者であることを任としていたのだ。

もし当時のローマ人にして、理性的自由を楽しむ心があったならば、おそらくこれら皇帝こそは、かつての共和政時代をふたたび蘇らせたという榮譽に値いしたはずである。・・・

エドワード・ギボン（中野好夫訳）『ローマ帝国衰亡史』1 ちくま学芸文庫

下線部の皇帝たちが支配した時代を示す語句と、その時代について述べた文の組み合わせとして正しいものを、次の 1～4 のうちから選びなさい。 

28
----

- 1 軍人皇帝時代 ・ディオクレティアヌス帝は東の正帝として専制君主制を導入し、四分統治をおこなった。
- 2 軍人皇帝時代 ・トイトブルク森の戦いでローマ軍団は壊滅しライン川がゲルマニアとの国境となった。
- 3 五賢帝時代 ・ハドリアヌス帝の時代にダキア・メソポタミア・アルメニアを支配下においた。
- 4 五賢帝時代 ・マルクス＝アウレリウス＝アントニヌスは『自省録』を著したストア派哲人皇帝として知られる。

設問3 次の文章を読んで、問に答えなさい。 【得点 16点】 解答番号 29 ~ 36

古代アテネと古代ローマの比較し、その特徴の共通点と相違点をまとめた。以下は、作成した比較表である。

		古代アテネ	古代ローマ
共通点	社会	・奴隷制社会に立脚	
		・自由な市民の共同体である	
		・平民と貴族の身分の平等化が進んだ ※アテネ民主政への歩み・ローマにおける身分闘争	
		・武器を自弁する重装歩兵が国防の主力であり、平民の地位向上に貢献した(のち傭兵制へ転換した)	
相違点	ポリス間関係	・都市国家のまま(ポリス国家の分立する世界)	・植民市・自治市・【ア】市の都市連合を形成し、やがて領域国家に変貌
	市民権の拡大	・市民権は市民に限定	・市民権を異民族にも拡大
	共同体と言語	・【イ】とバルバロイの明確な区別	・公用語としての【ウ】語・共通【エ】語やローマ法が普及が多民族国家を統合
	民主政的要素	・市民参加する直接民主政である	・間接民主政的だが、事実上/ピレスの支配である
	最高機関	・市民全員が参加する【オ】が国政最高機関	・元老院の権威強大(民会のあらゆる決定に元老院の承認が必要)
	公職選出	・大半の官職をアテネ市民から【カ】で選出	・ローマ市民による選挙で公職者選出
	市民間関係	※国政における市民間の平等が徹底された	※法外慣習であったクリエンテラ(保護・被護関係)の存在→有力者が選挙で有利
	独裁者	・【キ】で僭主の出現阻む	・【ク】の存在
	政体変遷	・政体循環的(王政→貴族政→僭主政→民主政→王政)	・混合政体的 元老院(貴族政的要素)・平民会(民主政的要素)・【ク】(王政的要素)

表中の【ア】～【ク】に当てはまる語句として正しいものを、つぎの1～10のうちからそれぞれ選びなさい。

- 問29 ア 29  
 問30 イ 30  
 問31 ウ 31  
 問32 エ 32  
 問33 オ 33  
 問34 カ 34  
 問35 キ 35  
 問36 ク 36

- 1 アラム            2 ヘレネス            3 ギリシア            4 同盟市            5 ラテン  
 6 民会            7 推薦            8 陶片追放            9 抽選            10 独裁官